

2022 年 8 月 12 日

関係各位

株式会社パテント・リザルト

【電力・ガス・石油】他社牽制力ランキング 2021 トップ 3 は出光興産、大阪ガス、ENEOS

弊社はこのほど「電力・ガス・石油業界」の特許を対象に、2021 年の特許審査過程において他社特許への拒絶理由として引用された特許件数を企業別 ※に集計した「電力・ガス・石油業界 他社牽制力ランキング 2021」をまとめました。

この集計により、直近の技術開発において競合他社が権利化する上で、阻害要因となる先行技術を多数保有している先進的な企業が明らかになります。

集計の結果、2021 年に最も引用された企業は、1 位 **出光興産**、2 位 **大阪ガス**、3 位 **ENEOS** となりました。

【電力・ガス・石油業界 他社牽制力ランキング 2021 上位 10 社】

順位	企業名	引用された特許数
1位	出光興産	564
2位	大阪ガス	471
3位	ENEOS	389
4位	中国電力	364
5位	東京ガス	321
6位	東京電力ホールディングス	235
7位	関西電力	176
8位	EXXONMOBIL	103
9位	中部電力	89
10位	東邦ガス	74

※ 当ランキングは、企業グループを考慮した名寄せ処理を用いて算出しています。

【ランキングの集計対象について】

日本特許庁に特許出願され、2021 年 12 月までに公開されたすべての特許のうち、2021 年 1 月から 12 月までの期間に拒絶理由（拒絶理由通知または拒絶査定）として引用された特許を抽出。
本ランキングでは、権利移転を反映した集計を行っています。2022 年 4 月 15 日の時点で権利を保有している企業の名義でランキングしているため、出願時と企業名が異なる可能性があります。
なお業種は、総務省の日本標準産業分類を参考に分類しています。

1 位 **出光興産**の最も引用された特許は「結晶質層及び非晶質層を積層してなる酸化物半導体膜を含む薄膜トランジスタ」に関する技術で、半導体エネルギー研究所の計 9 件の審査過程で引用されています。このほかには「粘度－温度特性、低温流動性、蒸発特性などに優れた潤滑油組成物」に関する技術が引用された件数の多い特許として挙げられ、CASTROL の計 4 件の拒絶理由として引用されています。

2021 年に、出光興産の特許の影響を受けた件数が最も多いのは半導体エネルギー研究所（93 件）で、次いで MERCK、ENEOS、トヨタ自動車（いずれも 16 件）です。

2 位 **大阪ガス**の最も引用された特許は「着色が著しく少ないフルオレン骨格含有アルコール」に関する技術で、本州化学工業などの計 7 件の審査過程で引用されています。このほか「新規なフルオレン化合物及びその製造方法」に関する技術が引用された件数の多い特許として挙げられ、本州化学工業と田岡化学工業の計 5 件の拒絶理由として引用されています。

2021 年に、大阪ガスの特許による影響を受けた件数が最も多い企業は東京ガス（24 件）で、次いでリンナイ（21 件）です。

3 位 **ENEOS** の最も引用された特許は「種類の異なる複数の発電装置からの電力を用いることが可能なシステム」に関する技術で、パナソニック IP マネジメントなどの計 5 件の審査過程において拒絶理由として引用されています。

2021 年に、ENEOS の特許による影響を受けた件数が最も多い企業は出光興産（25 件）で、次いで富士フイルム（14 件）となっています。

4 位 **中国電力**は「安全かつ簡単に事故点の探査を行える事故点探査装置」が、5 位 **東京ガス**は「系統電力の安定運用の目的で備えられる分散型電源の運転システム」が、最も引用された特許として挙げられます。

* * *

また弊社では、ランキングデータを下記の通り販売しています。

【電力・ガス・石油業界 他社牽制力ランキング 2021 データ】

▶納品物：以下のデータを収納した CD-ROM

- ・ランキング トップ 30 社：本業界の被引用件数上位 30 社のランキング
- ・被引用件数 トップ 100 件：本業界の被引用件数上位 100 特許、及び引用先の特許との対応

▶価格：50,000 円（税抜）

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社パテント・リザルト 事業本部営業グループ

TEL：03-5802-6580 FAX：03-5802-8271 HP：<https://www.patentresult.co.jp/>